



Toda Ascon

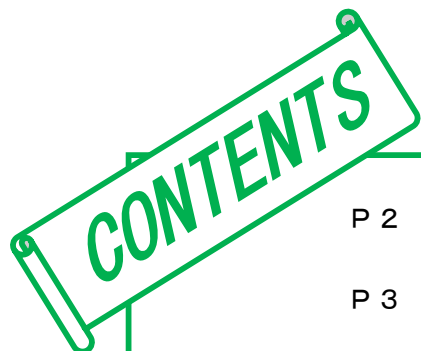
戸田アスコン株式会社

環境経営レポート2024



対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日

作成者：取締役 佐藤 伸起
更新日：2024年7月1日



P 2 ～ : C O N T E N T S

P 3 ～ : 会社概要

P 6 ～ : 環境経営方針

P 7 ～ : 環境経営目標

P 8 ～ : 環境経営計画

P 9 ～ : 実施体制

P 1 1 ～ : 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

P 1 3 ～ : 環境経営目標（品川センター）

P 1 4 ～ : 2 0 2 2 年度環境経営目標の実態・取組結果とその評価

P 1 5 ～ : 環境経営計画（品川センター）

P 1 6 ～ : 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟などの有無

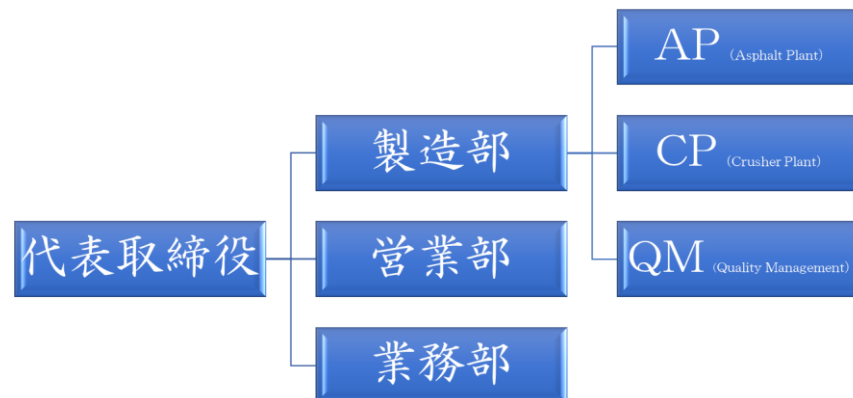
P 1 7 ～ : 代表者による全体評価と見直し指示

会社概要

会社名	戸田アスコン株式会社				
設立日	2017年5月1日（以前は『株式会社NIPPON戸田合材工場』）				
代表者	代表取締役 関 憲彦				
所在地	本社工場	:	〒 335 - 0015		
			埼玉県 戸田市 川岸1丁目1番20号		
		TEL	:	048 - 447 - 3300	
		FAX	:	048 - 445 - 5567	
	品川センター	:	〒140-0002		
			東京都 品川区 東品川3丁目32番20号		
		TEL	:	03 - 5463 - 0977	
		FAX	:	03 - 5479 - 6357	
環境管理責任者	取締役	佐藤 伸起	TEL	:	048 - 447 - 3300
担当者	製造部長	幸山 達也	TEL	:	048 - 447 - 3300
事業内容	アスファルト合材の製造 産業廃棄物中間処理業、リサイクル製品販売				
ホームページ	https://www.toda-ascon.co.jp/				

資本金	1, 000万円		
従業員数	戸田本工場	33名	
	品川センター	1名	
延床面積	戸田本工場	18'181 m ²	
	品川センター	249 m ²	
事業規模	アスファルト混合物製造数量	230'631t	
	産業廃棄物受入数量	287'416t	
事業年度	4月～3月		

組織図



環境経営方針

戸田アスコン株式会社は事業活動の環境負荷を認識します。

そのために従業員一同は環境問題の基礎的知識を高め、循環型社会の構築と地球温暖化防止の活動に継続的に取り組みます。

日常の品質管理を徹底し、地域環境に配慮した舗装技術の普及に努めます。

産業廃棄物処理業を通じて、環境に優しい社会の実現に貢献します。

1. 電力使用量、プラント燃費(都市ガス)使用量、自動車燃料(ガソリン・軽油)使用量の削減により、二酸化炭素排出量を低減します。
2. 廃棄物の分別、リサイクルを積極的に実施し、廃棄物の削減に取り組みます。
3. 環境に関する法規等を遵守します。
4. 環境経営の活動は、継続的改善を実施します。
5. 技術提案を行い、提供する製品やサービスで顧客の環境配慮に協力します。
6. 当社周辺の清掃に取組み、地域社会に貢献します。
7. 全社員に環境教育を行い、環境保全の意識を向上させます。

2024年4月1日
戸田アスコン株式会社
代表取締役 関 憲彦

環境経営目標

環境経営目標	基準年度(実績)		中期目標			
	2019年度		2022年度	2023年度	2024年度	
	通年		通年	通年	通年	
	2019年4月		2022年4月	2023年4月	2024年4月	
	～2020年3月		～2023年3月	～2024年3月	～2025年3月	
1. 二酸化炭素排出量の削減比率 (%)	—	100.0	1.5%	2.0%	2.0%	
(排出量) t-CO ₂	7,564		7,450	7,413	7,413	
2. 電力使用量の削減比率 (%)	—	100.0	1.5%	2.0%	2.0%	
(資料量) kWh	3,864,612		3,806,643	3,787,320	3,787,320	
(CO ₂ 排出量) t-CO ₂ (注 ₁)	1,762		1,736	1,727	1,727	
3. 都市ガス使用量削減比率 (%)	—	100.0	1.5%	2.0%	2.0%	
(使用量) m ³	2,422,010		2,385,680	2,373,570	2,373,570	
(CO ₂ 排出量) t-CO ₂ (注 ₂)	5,232		5,154	5,127	5,127	
4. 一般廃棄物排出量の削減比率 (%)	—	100.0	10%	10%	10%	
(排出量) kg	3,348		3,013	3,013	3,013	
5. 上水道使用量の削減比率 (%)	—	100.0	1.5%	2.0%	2.0%	
(使用量) m ³	4,390		4,324	4,302	4,302	
6. 製品の品質確保(不良品削減率 %)	—	100.0	2.0%	3.0%	3.0%	
(不良品量) t	1,200		1,176	1,164	1,164	

注₁：電力の二酸化炭素排出係数は、0.509kg/kwhを使用

注₂：当社は化学物質を使用していない。

環境経営計画

2023年度環境経営目標・環境経営計画

基準年度：2019年度

評価 ○：達成

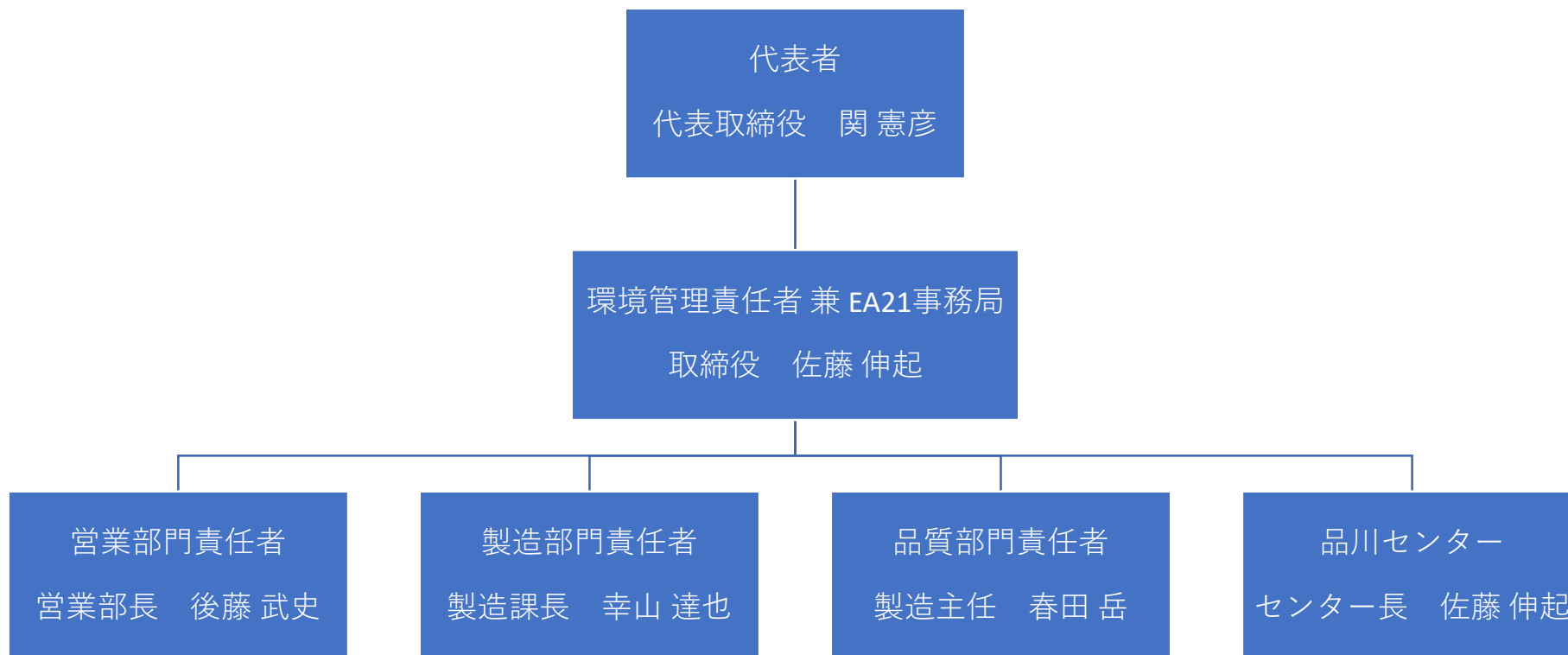
×：未達

□：計画

■：達成

NO	項目	年度目標 (基準年度2019年度)	達成手段	責任者	2023年												2024年		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	二酸化炭素排出量の削減	削減目標比率 1.5% 7,450 5,103 68.5%	電力・都市ガス使用量の削減	佐藤	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			重機低燃費運転		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			目標量(t-CO ₂)		540	490	510	610	520	600	640	640	760	640	810	690			
			実績量(t-CO ₂)		395.6	361.2	416.6	528.0	352.6	421.4	438.2	473.0	507.2	387.4	448.9	373.2			
			目標比(t-CO ₂)		73.3%	73.7%	81.7%	86.6%	67.8%	70.2%	68.5%	73.9%	66.7%	60.5%	55.4%	54.1%			
2	電力使用量の削減	削減目標比率 1.5% 3,787,320 3,802,766 100.4%	プラント空運転時間の削減	佐藤	■	○	■	■	○	■	■	■	■	■	○	■	■		
			プラント設備インバータ化		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			照明のLEDへの移行		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			コンプレッサの効率化		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			目標量(kwh)		290,000	279,000	295,000	320,000	310,000	305,000	313,000	328,000	348,000	310,000	360,000	329,320			
3	都市ガス使用量の削減	削減目標比率 1.5% 2,385,680 2,154,500 90.3%	骨材乾燥炉設備の維持管理	佐藤	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			骨材含水比の維持管理		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			排気温度の維持管理		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			目標量(m³)		182,000	150,000	155,000	195,000	160,000	190,000	190,000	202,000	250,000	207,000	270,000	234,680			
			実績量(m³)		166,170	153,410	173,980	223,540	148,950	175,120	184,530	198,870	215,880	165,910	191,180	156,960			
4	一般廃棄物排出量の削減	削減目標比率 10% 3,013 2,820 93.6%	印刷物の再資源化	佐藤	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			資源ごみの分別		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			目標量(kg)		240	263	220	240	290	260	250	260	270	260	240	220			
			実績量(kg)		236	243	211	227	272	259	198	239	256	246	232	201			
			目標比(kg)		98.3%	92.4%	95.9%	94.6%	93.8%	99.6%	79.2%	91.9%	94.8%	94.6%	96.7%	91.4%			
5	上水使用量の削減	削減目標比率 1.0% 4,324 3,960 91.6%	設備の水漏れ点検	佐藤	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			目標量(m³)		699	534	725	501	725	644	725	792	725	790	725				
			実績量(m³)		534	501	644	792	725	790	725	790	725	790	699				
			目標比(m³)		76.4%	69.1%	88.8%	109.2%	109.0%	96.4%									
			評価		○			○			○			○					
6	製品の品質確保	削減目標比率 2.0% 1,176 1,086 92.3%	製品の目視確認	佐藤	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			設備の維持管理		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			受託廃棄物の不純物混入監視		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			目標量(m³)		98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98			
			実績量(m³)		92	90	90	87	91	93	89	90	94	92	88	90			
評価	○			○			○			○									

実施体制



	役割・責任・権限
代表者	1. 実施体制の構築（環境管理責任者の任命等）
	2. 環境方針の制定
	3. エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意する
	4. 環境経営システムの定期的な見直しの実施
	5. 社内情報の外部公開否決決定
	6. 代表者による経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立・実施・維持・継続的改善
	2. 代表者への環境経営システムの実施状況報告
	3. 推進機関であるエコアクション21EMSの事務局の責任者として事務局運営
	4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する
	5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理・遵守徹底
	6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
E A 2 1 事務局	1. 環境管理責任者の補佐・エコアクション21推進委員会の事務局
	2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	3. 環境目標・環境活動計画書原案の製作
	4. 環境活動の実績集計・環境関連法規等の取りまとめ表の作成
	5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口・環境活動レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施・環境方針の周知・従業員に対する教育訓練の実施・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	3. 特定させた項目の手順書作成及び運用管理
	4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成・テスト・訓練を実施、記録の作成
	5. 自部門の問題点を発見・是正・予防処置の実施
従業員	1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する

（回覧ルート）

環境管理責任者 作成（承認⇒関係部門へ配布）

環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

NO.	推進項目	年度目標	結果確認	評価	達成/未達成の要因	未達成時の是正措置・予防措置
1	二酸化炭素 排出量削減 ($t-CO_2$)	1.5% 削減 7,450	31.5% 削減 5,103	○	二酸化炭素電力への切替	
2	電気使用量 削減 (kWh)	1.5% 削減 3,787,320	-0.4% 削減 3,802,766	×	トラブル等によるモーターへの過負荷 空運転の増加	過負荷防止のため、点検を行う 出荷のないときは、プラント設備を停止 する
3	都市ガス使用量 削減 (m^3)	1.5% 削減 2,385,680	9.7% 削減 2,154,500	○	バーナー開度の手動調整	
4	一般廃棄物 排出量削減 (kg)	1.5% 削減 3,013	6.4% 削減 2820	○	裏紙の活用 保管書類の電子化	
5	上水道使用量 削減 (m^3)	1.5% 削減 4,324	8.4% 削減 3,960	○	散水等の時間管理	
6	製品品質確保 (不良品率削減) (t)	1.5% 削減 1,176	7.7% 削減 1,086	○	製品目視確認頻度増加	

次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標		基準年度	次年度目標	
		2019年度	2024年度	
		実績	目標	環境経営計画
		2019年4月	2024年4月	2024年4月
		～2020年3月	～2025年4月	～2025年4月
1	二酸化炭素排出量削減比率 (排出量) t-CO ₂	— 7,564	2.0% 7,413	
2	電気使用量削減比率 (使用量) kWh (CO ₂ 排出量) t-CO ₂ ※1	— 3,864,612 1,762	2.0% 3,787,320 1,727	高効率モーターの導入
3	都市ガス使用量削減比率 (使用量) (CO ₂ 排出量) t-CO ₂ ※2	— 2,422,010 5,232	2.0% 2,373,570 5127	加熱骨材及びアスファルト混合物温度管理 入荷骨材含水比管理
4	一般廃棄物排出量削減比率 (排出量) kg	— 3,348	10.0% 3,013	電子データ移行への継続
5	上水道使用量削減比率 (使用量) m ²	— 4,390	2.0% 4,302	従業員の節水意識
6	製品品質確保 (不用品率削減) (不用品量) t	— 1,200	3.0% 1,164	製品目視確認頻度向上への継続

環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反・訴訟などの有無

適用される主な環境関連法規などは次のとおりである。

大気汚染防止法	☒ 特定施設（ばい煙） ☒ 特定施設（一般粉じん） ☒ 排出基準の遵守 ☒ 測定の記録と保管
騒音・振動規制法	☒ アスファルトプラント
公害防止組織法	公害防止管理者線解任届出 ☒ 公害統括者選解任届出
フロン排出抑制法	☒ 特定製品（業務用エアコン・冷蔵庫等）の整備・廃棄時のフロン回収・破壊 ☒ 引取証明書による回収・破壊の工程確認 ☒ 簡易点検
廃棄物処理法	☒ 産業廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要 ☒ 保管基準の遵守（表示・衛生管理等） ☒ 表示：60cm角以上・種類・氏名・連絡先 ☒ 産業廃棄物処理実績報告 ☐ 専ら再生利用を目的の収集・運搬業者に委託
省エネ法	☒ 第一種 原油換算 3000kl以上 ☒ 定期報告書の提出 ☒ 中長期計画の提出 ☒ 選任解任届出の提出
地球温暖化対策法 （埼玉県条例・戸田市条例）	☒ 地球温暖化対策計画の報告 ☒ 地球温暖化対策計画の報告

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。
 なお、関係当局よりの違反等の指摘はありません。

代表者による全体評価と見直し・指示

様式：14-01（14. 代表者による全体の評価と見直し）

代表者による全体の評価と見直し記録

■定期見直し（事業年度終了後）

□臨時見直し

実施日：2024年4月10日

代表者	環境管理責任者
関	佐藤

見直しに必要な情報 環境管理責任者の報告及び改善への提案				代表者による見直し 変更の必要性の有無・指示事項																													
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況（環境関連法規等遵守記録による） ・2024年4月10日に定期評価を実施した結果、遵守されている（文書類-12） ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 ・一般廃棄物…コピー裏紙使用・資源ごみの分別 ④前回までの代表者の指示事項への対応 ・該当事項無 〈改善への提案〉 ・該当事項無				【環境経営方針】 変更の必要性 ☐ 有 ☒ 無 ・変更なし																													
【目標・環境活動計画の達成状況】 〈詳細は環境活動計画書による〉				【環境経営目標及び環境経営計画】 変更の必要性 ☐ 有 ☒ 無 ・変更なし																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>目的項目</th> <th>目標値 達成状況</th> <th>活動計画 実施状況</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>二酸化炭素排出量</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>電気使用量</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>都市ガス使用量</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>一般廃棄物排出量</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>上水道使用量</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>製品品質確保</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				目的項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント	二酸化炭素排出量				電気使用量				都市ガス使用量				一般廃棄物排出量				上水道使用量				製品品質確保				【実施体制】 変更の必要性 ☐ 有 ☒ 無 ・変更なし	
目的項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント																														
二酸化炭素排出量																																	
電気使用量																																	
都市ガス使用量																																	
一般廃棄物排出量																																	
上水道使用量																																	
製品品質確保																																	
〈改善への提案〉 二酸化炭素排出量は削減されたが、製品需要が多くなれば削減が不可能な状態であるため、電力・ガスの使用量の削減は永遠の課題である。				【総括】 （環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載） 二酸化炭素排出量を抑えていかなければならない。そのためにも電力・都市ガスの使用量を見直す必要がある。実施体制を整え、環境法規等のアンテナを高く持ち続ける必要を感じた。																													
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より ・該当事項無 ②環境関連法規制等の動向他 ・該当事項無 〈改善への提案〉 ・該当事項無				代表者が自ら得た情報 ・CNL都市ガス ・CO ₂ フリー電力について ・SDGsについて																													